

高齢者の根面う蝕の予防と治療

前 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔保健学分野 教授

現 福島県昭和村国民健康保険診療所 歯科長

福島 正義

成人期に歯周疾患の進行、歯周治療あるいは不適切なブラッシングなどによる歯肉退縮により露出した歯根面あるいは修復物辺縁に近接した歯根面にしばしばう蝕が発生します。平成 28 年歯科疾患実態調査によると、歯周疾患は後期高齢者で増加が著明で、それに伴い高齢者のう蝕が増加傾向にあります。とくに口腔清掃の行き届かない要介護高齢者、頭頸部腫瘍の放射線治療に伴う唾液腺障害や内服薬の副作用による口腔乾燥症患者、認知症患者などでは全顎的に根面う蝕が多発することがあります。このような成人のランパントカリエスである多発性根面う蝕の対処は「歯科医の悪夢」と言われるほど臨床現場では深刻な問題です。歯頸部を取り囲む修復処置は極めて厳しい条件下で行なわれるため、一般臨床での修復物の予後は修復材料の選択よりも術者の修復技術に依存するところが大きいと思われれます。したがって、う蝕の修復処置よりも歯肉退縮の主因である歯周病予防を基盤にした非外科的な予防・慢性化療法の治療戦略を優先的に考えるべきです。

本講演では根面う蝕の処置に関する日本歯科保存学会編の「う蝕治療ガイドライン 第 2 版」の解説に加えて、わが国で昭和 40 年代に乳歯ランパントカリエスの進行抑制に多用され、最近では海外で根面う蝕の 1 次予防材料として高く評価されているフッ化ジアンミン銀を活用した根面う蝕のマネージメントを紹介いたします。

福島 正義（ふくしま まさよし）

略 歴

- 1978 年 新潟大学歯学部卒業
- 1982 年 新潟大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）
- 1982 年 新潟大学助手・歯学部附属病院（第 1 保存科）
- 1985 年 米国インディアナ大学歯学部・客員研究員（歯科材料学）
- 1986 年 新潟大学講師・歯学部附属病院（第 1 保存科）
- 2001 年 新潟大学助教授・歯学部附属病院（総合診療部）
- 2004 年 新潟大学教授医歯学系（歯学部口腔生命福祉学科担当）



2010年 新潟大学教授医歯学系（大学院医歯学総合研究科主担当）

2018年 福島県昭和村国民健康保険診療所 歯科長

学会等活動

日本接着歯学会（前会長、終身認定医）、日本歯科衛生学会（顧問）、
日本歯科保存学会（理事、専門医、指導医）、日本老年歯科医学会（代議員、
終身指導医）、日本歯科理工学会（DMSA）、日本歯科医学教育学会（評議員）、
日本口腔衛生学会、日本歯科審美学会（理事、認定医）、日本歯科衛生教育学
会（理事）、全国歯科衛生士教育協議会（副理事長）等